

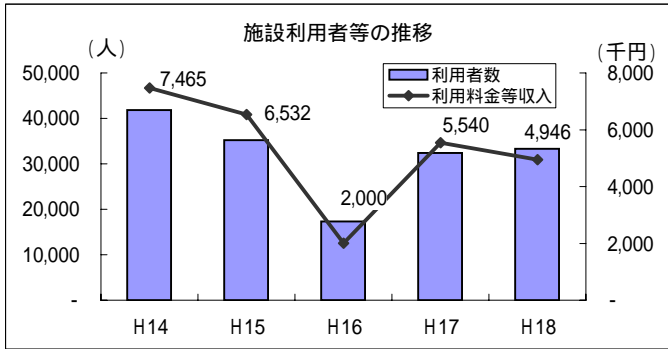
一乗谷朝倉氏遺跡資料館(1/2)

眠りから覚めた戦国城下町一乗谷の
発掘調査・整備・研究・展示をしています

| | | | |
|--------------------|---|--------|---|
| 所在地 | 福井市安波賀町4-10 | | |
| 設置年月日 | 昭和56年8月20日 | | |
| 施設の種類 | 博物館 | 施設管理主体 | 県 |
| 設置の目的 | 特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡に関する資料の収集、保管および展示等を行うとともに、遺跡の発掘調査、整備、研究等を実施し、県民の文化の向上に寄与する。 | | |
| 概要 (構造、面積、主な機能) | 鉄筋コンクリート造 一部2階建 延面積2,052㎡ 展示室・講堂 出土遺物約160万点 収蔵 | | |
| 職員数 | 職員7人 非常勤嘱託4人 アルバイト2人 計13人 | | |

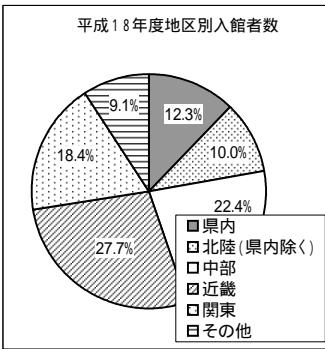
利用状況等

| | H14 | H15 | H16 | H17 | H18 |
|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 利用者数(人) | 41,843 | 35,212 | 17,354 | 32,391 | 33,329 |



利用料金等

| | | |
|-------|--------|------|
| 観覧料 | 一般・大学生 | 100円 |
| (常設展) | 小・中・高生 | 無料 |
| | 70歳以上 | 無料 |



利用状況の推移
平成16年度は、福井豪雨の被災により、利用者数が、17,354人となり、対前年度比約51%の大幅な減少となりました。
平成17年度以降についても、福井豪雨前の利用者数には達していませんが、徐々に回復してきています。

施設の特徴

朝倉義景館跡全景(南から)



一乗谷朝倉氏遺跡の発掘調査、環境整備、研究等を実施するとともに、その研究成果を発表、展示しています。

- ・先駆的な大規模遺跡として全国的に注目を集めています。
- ・福井県の知名度アップや集客力の向上に寄与しています。
- ・県民の郷土に対する理解を深め、他県に対して誇りとなっています。

貴重な歴史的遺産である朝倉氏遺跡の保存を図るとともに、地域住民、観光等関係団体、行政機関の連携により、遺跡の活用とその周辺地域の観光振興およびイメージアップを推進することを目的として、活用推進協議会を設立し、朝倉氏遺跡への来訪者の増加を図っています。福井県観光連盟と連携し、旅行代理店等に対して、誘客のためのPRを実施しています。

平成18年度の特徴について

| | |
|------|---|
| 事業実績 | 企画展を開催しました。(6,270千円) 「古文書が語る朝倉氏の歴史」7/21～9/3 6,664人 |
| | 公開講座を実施しました。 ・企画展記念講演会(8月) ・遺跡見学会(1回)(5月) ・朝倉氏ゆかりの地を歩く(2回)(6月、9月) ・古文書教室(4回)(7月 8月) ・山城見学会(1回)(10月) ・文化の日記念公開講座(11月) ・ふるさとの日公開講座(2月) |
| | 遺跡の発掘調査を実施しました。(10,000千円) ・馬出地区 500㎡ |
| | 遺跡の環境整備を実施しました。(21,808千円) ・雲正寺地区 3,500㎡ |
| | 出土遺物の保存処理(漆塗木製品等)を行いました。(2,000千円) |
| | 重要文化財指定に向けての整理作業を行いました。(2,600千円) |

一乗谷朝倉氏遺跡資料館(2/2)

行政コスト計算書(平成18年度) (単位 千円)

| | | 総額 | 構成比 | 前年比 |
|----------|-----------|---------|--------|--------|
| 人にかかるコスト | 人件費 | 79,247 | 68.8% | 102.8% |
| | 退職給与引当金繰入 | 455 | 0.4% | 216.7% |
| | 計 | 79,702 | 69.2% | 103.1% |
| 物にかかるコスト | 物件費 | 20,829 | 18.1% | 104.3% |
| | 維持補修費 | 1,203 | 1.1% | 37.9% |
| | 減価償却費 | 12,701 | 11.0% | 100.0% |
| | 計 | 34,733 | 30.2% | 96.9% |
| その他 | 公債費(利子) | 0 | 0.0% | 0.0% |
| | その他 | 679 | 0.6% | 95.1% |
| | 計 | 679 | 0.6% | 95.1% |
| 合計 | | 115,114 | 100.0% | 101.1% |
| 収入 | 利用料等収入 | 3,331 | 2.9% | 99.2% |
| | その他収入 | 2,819 | 2.4% | 84.5% |
| | 一般財源 | 108,964 | 94.7% | 101.7% |

バランスシート(平成19年3月31日現在) (単位 千円)

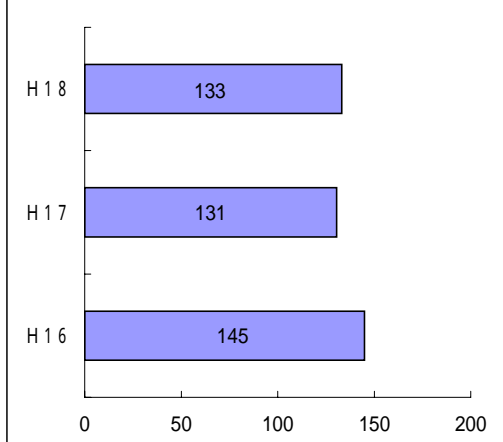
| 借方 | | | 貸方 | | |
|---------|---------|--------|-----------|---------|--------|
| 資産 | | 前年比 | 負債 | | 前年比 |
| 有形固定資産 | 391,457 | 96.9% | 固定負債 | 55,685 | 100.8% |
| うち土地 | 26,361 | 100.0% | うち退職手当引当金 | 55,685 | 100.8% |
| うち建物・設備 | 323,122 | 96.4% | | | |
| うち資料等 | 41,124 | 98.6% | | | |
| 投資等 | 0 | - | 流動負債 | 0 | - |
| 流動資産 | 0 | - | 正味資産 | 335,772 | 96.2% |
| 計 | 391,457 | 96.9% | 計 | 391,457 | 96.9% |

主な指標 (単位: %, 円/人)

| | H18 | H17 | 前年比 |
|----------------|------|------|--------|
| 県民1人あたり有形固定資産額 | 478 | 492 | 97.2% |
| 県民1人あたり将来負担額 | 68 | 67 | 101.5% |
| 世代間負担率 | 85.8 | 86.3 | 99.4% |

| | |
|---------------------|--|
| バランスシート、行政コスト計算書の特徴 | <p>人にかかるコストの割合が他施設と比較して高くなっていますが、朝倉氏遺跡の発掘整備等に従事する専門職員の人件費が含まれているためです。</p> <p>行政コスト全体では、人件費が若干増加していますが、概ね前年度同額となっています。</p> <p>また、利用料金等収入が減少していますが、これは常設展観覧料が無料となる高校生以下や70歳以上の利用者の割合が増加したためです。</p> <p>資産のうち建物が8割を占めます。</p> <p>一方、将来の財政負担要因となる負債は退職手当引当金のみですので、県民1人あたり将来負担額は小さくなっています。</p> <p>なお、出土遺物の約160万点は、有形固定資産には含まれていません。</p> |
| 施設の目的上、管理運営上、主要な事業 | <p>管理部門：施設の維持管理、資料の保管と管理 【H19予算額：約29百万円】</p> <p>事業部門： 企画展開催事業 ... 企画展の開催 【H19予算額：約9百万円】 遺跡発掘調査事業 ... 未調査地区の発掘調査 【H19予算額：約38百万円】 遺跡環境整備事業 ... 発掘調査済み地区の環境整備 【H19予算額：約31百万円】</p> |
| 今後の課題 | <p>朝倉氏遺跡が観光資源としてより一層の活用推進が図られるように、遺跡の発掘、整備が必要となっています。</p> <p>福井豪雨前の入館者数には回復しておらず、入館者数増加のため、さらなる情報発信やPRが必要となっています。</p> |
| 今後の事業方針 取組み内容 | <p>一乗谷朝倉氏遺跡新10か年整備・活用計画(平成17年度～26年度)に基づき、朝倉氏遺跡の整備を促進し、観光・イメージアップへの活用を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未調査地の試掘調査や、遊歩道沿い(平地部)の発掘調査を行います。 ・発掘調査済み地区の平面復原・立体復原を行います。 ・貴重な文化遺産である遺物の保存を図り、展示に活用します。 ・魅力ある企画展示・常設展示を行い、入館者数を確保するとともに朝倉当時の生活や建築などの理解普及を図ります。 |

県民1人あたりのコスト負担の状況(円)



人口100万人あたり入館者数の比較(H18)

